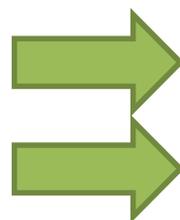


2020年の大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を「ホストタウン」として全国各地に広げる。

1. 以下の取組みを行う地方公共団体は、ホストタウンとして登録できる。
 - ① 住民等と次に掲げる者との交流
 - － 大会等に参加するために来日する選手等
 - － 大会参加国・地域の関係者
 - － 日本人オリンピック・パラリンピアン
 - ② ①に伴い行われる取組みであって、スポーツの振興、教育文化の向上及び共生社会の実現を図ろうとするもの
2. 内閣官房オリパラ事務局に、団体からの相談・申請等を受け付ける窓口を設置する。
3. 関係府省庁は、各種財政措置（特別交付税などの地方財政措置を含む）、人材の派遣、情報提供などを通じ、ホストタウンの取組みを支援する。



大会前後を通じた継続的な取組みにしていく

上記取組みを核として、更に地域のグローバル化、活性化、観光振興等へとつなげていく

青梅市交流計画の概要

団体名	東京都 青梅市
相手国・地域	ドイツ

2016～
(大会開催まで)

2020
(大会中)

2020～
(大会直後～)

スポーツを通じた交流

青梅マラソン大会を活かした
マラソン交流



サッカー等スポーツを通じた交流



カヌースラローム競技の
事前合宿受入れ



オリンピック・パラリンピアン
との交流

これまでの交流レガシーの活用と
オリ・パラを契機とした
新たなレガシーの創出



「カヌーの聖地」
「市民マラソンの元祖」
を活かしたスポーツ交流の拡充

文化を通じた交流

親善使節団の相互派遣の充実



姉妹校提携を活用した
相互理解教育の促進



食と文化を活かした
機運醸成イベントの創出



観光案内等の多言語対応、通訳ボランティア等の育成
広域連携を活用した各交流の充実

青梅市・ポツパルト市交流の
広域への拡大